

～ 地域の魅力“いいとこ”“いいもの”発信！～

商工会女性部 おもてなし交流事業「おもてなしプラン」提案書

都道府県名 ふりがな	岩手県	市町村名 りくぜんたかた しょうこうかいじょせいぶ	陸前高田市
★ 女性部名	陸前高田 商工会女性部		
所在地	陸前高田市高田町字鳴石50-10		
URL	http://www.shokokai.com/takata/		
TEL	0192-55-3300	FAX	0192-54-4714
E-Mail	takata@shokokai.com	女性部担当者	鈴木 大貴
女性部長氏名	金野 ヨシ子	女性部員数	133人
部費 (年間1人あたり)	1,500円	平成29年度 女性部予算総額	2,064千円
設立年月日	昭和43年9月26日	設立後年数	49年

★ おもてなしプラン 名称	復興途上 イン 陸前高田 ～ 陸前高田商工会女性部によるおもてなし事業～		
★ おもてなしプラン 内容	<p>東日本大震災より復興途上の陸前高田市を私達部員がご案内します。開山500年を超える古刹 海岸山普門寺にて東日本大震災の犠牲者を弔い、ご希望により住職の楽しい講話も伺えます。当女性部が取り組む慰霊事業「二度と散らないねがい桜」の奉納も体験コースで選択できます。</p> <p>また、気仙地方の優秀な大工左官の技術の高さを示す「箱根伝承館」には、阪神淡路大震災のモニュメント「1.17希望の灯り」より分灯された「陸前高田希望の灯り」があり、見学の他「陸前高田・しあわせ音頭」の体験コースも選択できます。</p> <p>津波に負けなかった「奇跡の一本松」や「道の駅タピック45」、「旧気仙中学校」などの震災遺構、復興した大型商業施設「アバッセたかた」の見学等、各コースを「日帰り・宿泊」に合わせて、自由に組み合わせることができます。</p> <p>また女性部員との交流会を行い、陸前高田の現状をお話しいたします。</p>		
受入可能時期	通年	受入人数上限	特に無し
おもてなしポイント	陸前高田市の復旧、復興への歩みを私達部員がご案内します。これまでの沢山のご支援に対して、御礼を込めたおもてなしを心がけます。		
★ 県内の女性部へ メッセージ・PR	東日本大震災で壊滅的な被害を受けた陸前高田市ですが、かさ上げ工事が進み、大型商業施設もオープンしました。新たな商店街の計画も着々と進められています。少しづつ変わっていく陸前高田市を体験し、笑顔で頑張る女性部員と交流してみませんか？		
特色ある 女性部事業	地域振興事業として、ご当地音頭「陸前高田・しあわせ音頭」を製作し振り付けを考案、イベント等で披露している。また「二度と散らないねがい桜」という桜のつるし飾りに鎮魂メッセージを込め、震災被災者を供養する取り組みを行っている。		
市町村の概要 (人口・主要産業等)	陸前高田市は岩手県沿岸最南部、宮城県との境に接する。東日本大震災に伴い市街地は壊滅的な被害を受け、商工業者の8割が被災した。現在復興に向けての計画が進められている。人口は約2万人。		
アクセス方法	<p>★ 東北自動車道 一関ICより車で1時間半。</p> <p>★ 一関駅より鉄道(ドラゴンレール大船渡線)及びバス(BRT) 約2時間</p> <p>★ 一関駅より高速バス(大船渡方面行き) 約2時間</p>		
PRチラシ	別紙		

★印のついている項目は、PRチラシに記載する必須項目です。

復興途上 イン 陸前高田

① 伝承館

○気仙大工左官伝承館

気仙大工左官の優れた建築技法を後世に伝えるために建設されました。明治初期の気仙地方の民家を想定し、当時の建築様式により、材料は全て気仙杉など地元材を使用しています。

また、海を臨む庭には、神戸より分灯された、慰靈と復興のモニュメント「希望の灯り」が燈っています。見学の他、「陸前高田・しあわせ音頭」体験コースを行います。



② 一本松

○奇跡の一本松

津波によって流された、約7万本の高田松原で、唯一耐え残った「奇跡の一本松」です。

奇跡的に残った一本松でしたが、海水により深刻なダメージを受け、平成24年5月に枯死が確認されました。

しかし、震災直後から、市民のみならず全世界の人々に復興のシンボルとして親しまれてきた一本松を今後も後世に受け継いでいくため、モニュメントとして保存整備されました。

③ 普門寺

○海岸山普門寺

曹洞宗の古刹海岸山普門寺、2003年現在地500年祭を迎えました。延宝年間に植られたサルスベリは県内最大木で県指定天然記念物であり、聖観音菩薩座像、三重の塔は県指定有形文化財となっています。東日本大震災で亡くなられた方、行方不明の方々が埋葬されており、当女性部では「供養の言葉」「希望の願い」「復興の願い」をメッセージカードを入れた「ねがい桜」という吊るし飾りに望み、殉難者18,550名分を祀る取り組みを行っています。

見学の他、「ねがい桜」体験コースを行います。

④ アバッセたかた

○商業・図書館複合施設「アバッセたかた」

平成29年4月27日に、陸前高田嵩上げ地区中心部大型複合商業施設「アバッセたかた」がオープンしました。

東日本大震災から6年が経過し、陸前高田の中心市街地商店街が大きく動き出しており、その先導役を担う「アバッセたかた」は、3事業主体の商業棟と市立図書館から構成されており、地元中心企業者14店舗が出店する専門店街とスーパー、衣料、ドラッグストアなどの大型専門店が一体となって皆様方の日常生活をサポートし、暮らしを支えております。

多くの方に「アバッセ」に「あばっせ（一緒に行きましょう）」と言われ続けるようなお店を目指しています。

⑤ 道の駅タピック45

○道の駅高田松原タピック45

陸前高田市の国道45号上にある道の駅で、津波襲来により建物及び駐車場に甚大な被害を受けました。

敷地内には、慰靈施設や「復興まちづくり情報館」があり、震災以前の状況や復興状況を示すパネルや、被災松の根が展示されています。



⑥ 旧気仙中学校

○震災遺構

旧：陸前高田市立気仙中学校

陸前高田市の国道45号上にある学校で、津波により甚大な被害を受けたため、現在は旧矢作中学校後で再開しております。

旧校舎は当時のまま残っており、一本松を見ることが出来ます。



①～⑥の見学コース組み合わせ自由(宿泊、日帰り)

商工会女性部

おもてなし

交流事業

陸前高田商工会女性部

〒029-2205 陸前高田市高田町字鳴石50-10

TEL: 0192-55-3300/FAX: 0192-54-4314